

平成24年度 市政執行方針

平成24年第1回登別市議会定例会に当たり、平成24年度の市政執行に臨む基本的な考え方と施策の重点について申し上げます。

昨年3月11日の東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故は、東北地方および関東地方の太平洋沿岸を中心に、甚大な被害と放射能による深刻な事態をもたらしました。

私が震災後の4月初旬に被災地に入り、直接目の当たりにした津波被害の惨状や被災者の方々の様子は、今でも脳裏に焼き付いており、私はこの時、登別市を今まで以上に災害に強いまちにしなければならないと決意を新たにしました。

市民の皆さん、議員の皆さんには、この1年、被災地への心温まるご支援をいただくとともに、震災後からの本市におけるさまざまな防災活動にご協力いただいたことに対し、改めて深く感謝申し上げます。

さて、本市の財政状況は、市内経済の停滞や高齢化の進展などによる市税の落ち込みや過去の大型建設事業による公債費の高止まりが続き、近年、經常収支比率が95パーセント以上で推移し、政策的予算の捻出に基金を取り崩すなど厳しい対応をしてまいりました。その結果、『中期財政見通し』最終年度の平成25年度末には財源調整用基金残高は8億円を割り込み、過去10年間の最大額である平成18年度末残高の半額程度に落ち込む見込みであります。

こうした中、今後とも歳入確保・歳出見直しに取り組むとともに、貴重な財源の有効活用を図り、市民の皆さんと対話を重ねながら、未来に希望の光が差し続ける登別のまちを共に描いていくため、平成24年度の市政は、『危機管理の強化』『見守る福祉の増進』『子どもの幸せを育む』『地域経済の振興』以上の4点を重点として取り組んでまいります。



演台から執行方針を述べる小笠原市長

